

参考資料

(本書は米国時間 2016 年 2 月 1 日に米国で発表済みの英文プレスリリースの和訳です。
解釈に相違が生じた際には、英語版を基準とします)

2016 年 2 月 2 日

Aflac Incorporated は 2015 年度第 4 四半期の業績を発表 2016 年度の 1 株当たり事業利益及び販売の見通しを確認 2016 年度第 1 四半期現金配当を宣言

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2015 年度第 4 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の 55 億ドルから 3.5%減少し、53 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 7 億 300 万ドル(希薄化後 1 株当たり 1.57 ドル)から 7 億 3,000 万ドル(同 1.71 ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には 8,300 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.19 ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、6,000 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.14 ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていました。有価証券取引による税引後資産運用実現益は、実現損とのネットで 7,700 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.18 ドル)でした。当四半期の税引後減損損失は 700 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.01 ドル)と少額でした。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで 4,900 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.12 ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現益(実現損とのネット)は 3,900 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.09 ドル)でした。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損益からの 200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.01 ドル)の税引後利益が含まれています。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクを管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レ

トを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円／ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価すべきであると考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の 114.44 円から 5.8%円安ドル高の 121.54 円となりました。また、2015 年度通年の平均円／ドル為替レートは、前年度の 105.46 円から 12.8%円安ドル高の 120.99 円となりました。日本社の当四半期及び通年のドルベースでの成長率は、円安ドル高により圧迫されました。

当四半期の事業利益は、前年同期の 5 億 8,100 万ドルから、6 億 6,800 万ドルとなりました。当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は、前年同期の 1.29ドルに比べて 20.9%増加し、1.56ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は、0.05 ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた希薄化後 1 株当たり事業利益は、24.8%増加しました。

2015 年度通年の業績も、円安ドル高により圧迫されました。収益合計は前年度の 227 億ドルから 8.2%減少し 209 億ドルとなりました。2015 年度通年の当期純利益は前年度の 30 億ドルから 25 億ドルに、希薄化後 1 株当たり当期純利益は 6.50ドルから 5.85ドルとなりました。2015 年度の当期純利益は、第 2 四半期に開示した社債の繰上償還による影響を受けています。一方、2015 年度通年の事業利益は、前年度の 28 億ドルから 27 億ドルに、希薄化後 1 株当たり事業利益は前年度の 6.16ドルと同額の 6.16ドルとなりました。円安ドル高による、希薄化後 1 株当たりのマイナスの影響 0.46ドルを除くと、2015 年度の希薄化後 1株当たり事業利益は 7.5%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2015 年 9 月 30 日現在の 1,049 億ドルから 2015 年 12 月 31 日現在では 1,059 億ドルとなりました。

当四半期、当社は 2 億 3,400 万ドル相当(380 万株)の自己株式を取得しました。2015 年度通年で、当社は 13 億ドル相当(2,120 万株)の自己株式を取得しました。2015 年 12 月 31 日現在、当社の自己株式取得承認枠は、4,840 万株となっています。

株主持分は、2015 年 9 月 30 日現在が 173 億ドル(1 株当たり 40.36ドル)であったのに対し、2015 年 12 月 31 日現在では 174 億ドル(1 株当たり 40.96ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2015 年 9 月 30 日現在が 32 億ドルであったのに対して、2015 年 12 月 31 日現在では 30 億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で 16.9%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で 18.8%(円安の影響を除くと 19.4%)でした。また、円安の影響を除き、平均株主持分に対する事業ベースの利益率は通年では 20.4%でした。

日本社

当四半期、円ベースで見ると、部分的には当四半期より前に実行された再保険取引の影響を反映し、保険料収入(ネット)は0.3%増加しました。再保険の影響を除くと、保険料収入(ネット)は1.6%増加しました。投資収益(ネット)は1.0%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約51%がドル建てであったことから、日本社の円ベースの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上げられました。前年同期は投資収益の48%がドル建てでした。当四半期の日本社の収益合計は、前年同期比0.4%増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の20.1%から22.3%へと上昇しました。これは、前年同期比経費水準が低かったことに加えて、当社にとって有利な給付水準が継続したことを反映しています。円ベースの税引前事業利益は、報告ベースでは11.7%増加しましたが、為替変動の影響を除けば、8.9%の増加でした。一方、2015年度通年の円ベースの保険料収入は0.4%の減少、投資収益(ネット)は4.8%の増加、収益合計は0.5%の増加、税引前事業利益は5.3%の増加でした。また、為替変動の影響を除くと、税引前事業利益は0.4%の増加でした。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、著しい円安ドル高の影響により、押し下げられました。当四半期の保険料収入は5.6%減少し、30億ドルとなりました。投資収益(ネット)は4.9%減少し6億1,200万ドルとなりました。収益合計は5.5%減少し、36億ドルに、税引前事業利益は5.2%増加し8億1,000万ドルとなりました。2015年度通年の保険料収入は、前年度比13.1%減少し120億ドルとなりました。投資収益(ネット)は8.5%減少し24億ドルとなりました。収益合計は12.3%減少し145億ドルに、税引前事業利益は前年度比8.2%減少し、32億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は5.1%減の317億円(2億6,000万ドル)となりました。前年同期との比較が困難であるため、当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、12.7%減少しました。当四半期のWAYSと学資保険を含む第一分野商品の販売は、15.9%増加しました。

2015年度通年の新契約年換算保険料は5.5%増加して1,209億円(9億9,700万ドル)となりました。第三分野商品の販売は、13.4%増加しました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は2.3%増加し、13億ドルとなりました。投資収益(ネット)は5.6%増加して1億7,100万ドルとなりました。収益合計は2.7%増の15億ドルとなりました。保険金給付金比率の改善が継続していることを反映し、税引前事業利益率は、前年同期の13.7%から15.8%となりました。当四半期の税引前事業利益は18.3%増の2億3,700万ドルとなりました。2015年度通年の収益合計は3.0%増の60億ドルに、保険料収入は2.6%増の53億ドルとなりました。投資収益(ネット)は5.0%増加して6億7,800万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比2.7%増の11億ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は9.6%増加し、4億9,700万ドルとなりました。2015年度通年の新契約年換算保険料は3.7%増加して15億ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2016 年度第 1 四半期支払いの四半期現金配当を1株当たり 0.41 ドルとすることを発表しました。この現金配当は、2016 年 2 月 16 日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2016 年 3 月 1 日に支払われます。

今後の見通し

当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期及び 2015 年度通年の当社の財務業績については、大変喜ばしく思っています。当四半期は非常に強いものとなり、為替変動の影響を除く希薄化後 1 株当たり事業利益の成長目標の上限を超える実績を挙げて年度を終えました」

「当社の最大の利益貢献部門である日本社は、当四半期、円ベースで際立った財務業績を挙げました。さらに、2015 年度における驚異的な第三分野商品の販売は、当初の予想を大幅に上回り、全ての販売チャネルにわたる販売増により、前年度比 13.4%増の成長を達成することとなりました。この成果は、第三分野において過去 10 年間の最高となる年間販売成長率です。がん保険の販売は、通年で前年度比 40.6%増と目覚ましい実績を挙げ、最大の貢献をしました。販売チャネルについては、当社の伝統的な代理店がこれまでも、そしてこれからも当社の成功の鍵となっています。私はまた、日本郵政とのパートナーシップを年度を通して強化し続けて来たことを喜ばしく思っています。2015 年度、当社のがん保険を販売する郵便局数は 2 万を超え、取扱局の拡大を完了しました。昨年 12 月のアウトルック・コールにおいてお示したように、2015 年度の極めて強固な販売実績を受け、2016 年度の第三分野商品の販売は前年度比で一桁台半ばのパーセンテージの減少になるものと予想しています。引き続き当社は、長期の複利成長年率は 4%から 6%の間となるものと確信しています」

「財務業績の観点では、米国社も当四半期及び 2015 年度通年で良好な実績を挙げました。当四半期、米国社の新契約年換算保険料が 4 億 9,600 万ドルと過去最高になったことを私は大変喜ばしく思います。当四半期の販売成長率に置き換えると 9.6%増ということになり、2015 年度通年の販売を 3.7%増加させることとなりました。専属募集人及びブローカー向けに当社がこの 18 ヶ月間実行してきた経営インフラの改編が、今後の長期的な成長機会の礎を築いていることに、私は手ごたえを感じています。昨年 12 月のアウトルック・コールにおいてお話ししたように、販売は第 4 四半期に向けて増加する見込みです。2016 年度の米国社の販売成長率は、3%から 5%の範囲となり、長期の複利成長年率は、任意加入保険市場の成長率である 5%又はこれを上回るものと確信しています」

「資本力についての当社の評価に基づき、2015 年度は約 2,590 億円の利益送金を行いました。この実績は通年の予想を上回るものでしたが、部分的には、3 月に実行した再保険取引によって発生した収益によりもたらされたものです。以前にもお話ししたとおり、他に有力な選択肢がない場合、現金配当の増加と自己株式の取得が、資本の活用における最も魅力的な手段であると確信しています。2016 年度においては、当社は引き続き 14 億ドル相当の自己株式の取得を予定しており、この内大きな部分については上半期に前倒しで実行する見込みです。また前四半期にお示したことですが、昨年第 4 四半期の現金配当を 5.1%増加させ、33 年間連続の増配を達成

しました。当社の目標は、一般的には為替変動の影響を除く希薄化後 1 株当たり事業利益の増加率に沿って配当の増加を図ることです」

「2016 年度を展望し、当社の目標が昨年 12 月のアウトルック・コールでご説明した内容と変わっていないことを申し上げます。当社の目標は、2015 年度の平均為替レートである 1 ドル 120.99 円の下で、6.17 ドルから 6.41 ドルの安定的な希薄化後 1 株当たり事業利益を計上することです。ここで思い起こしていただきたいのは、変化の激しい金融市場と著しく低い水準にある金利環境の中で、キャッシュ・フローを魅力的な利回りで安全に運用することは困難であるということです。また、2016 年度も、保険金給付金比率は日米ともに有利な傾向にあり続けるものと見ています。常にそうしてきたことですが、当社は、一株当たり利益目標の達成に全力で取り組むとともに、ご契約者への約束を着実に果たすべく、努力をしております」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60 年にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、有効な給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを 1 営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4 世帯に 1 世帯がアフラックの保険に加入しています。当社の個人保険及び団体保険は、世界で 5,000 万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は 9 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2015 年、『フォーチュン』誌は当社を 17 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、14 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野のイノベーション部門で第 1 位にランクしました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement) は、aflac.com「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の模様を 2016 年 2 月 2 日 (火曜日) 午前 9 時 00 分 (米国東部標準時間) に aflac.com「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く―無監査)

12月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>2015年</u>	<u>2014年</u>	<u>増減率</u>
収益合計	5,319	5,514	-3.5%
保険金給付金	2,930	3,069	-4.5%
新契約費及び事業費合計	1,279	1,370	-6.8%
税引前当期純利益	1,110	1,075	3.4%
法人税等	380	372	
当期純利益	730	703	3.9%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.72	1.57	9.6%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.71	1.57	8.9%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	425,056	446,370	-4.8%
希薄化後	427,556	449,030	-4.8%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.41	0.39	5.1%

12月31日に終了した12ヶ月間:

	<u>2015年</u>	<u>2014年</u>	<u>増減率</u>
収益合計	20,872	22,728	-8.2%
保険金給付金	11,746	12,937	-9.2%
新契約費及び事業費合計	5,264	5,300	-0.7%
税引前当期純利益	3,862	4,491	-14.0%
法人税等	1,329	1,540	
当期純利益	2,533	2,951	-14.2%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.88	6.54	-10.1%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.85	6.50	-10.0%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	430,654	451,204	-4.6%
希薄化後	433,172	454,000	-4.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.58	1.50	5.3%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除くー無監査)

12月31日現在:

	<u>2015年</u>	<u>2014年</u>	<u>増減率</u>
資産:			
運用資産および現金・預金	105,897	107,341	-1.3%
繰延新契約費	8,511	8,273	2.9%
その他の資産	3,888	4,153	-6.4%
資産合計	118,296	119,767	-1.2%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	87,631	83,933	4.4%
社債等	5,011	5,282	-5.1%
その他の負債	8,272	12,205	-32.2%
株主持分	17,382	18,347	-5.3%
負債および株主持分合計	118,296	119,767	-1.2%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	424,380	442,445	-4.1%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く―無監査)

12月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>2015年</u>	<u>2014年</u>	<u>増減率</u>
事業利益	668	581	15.1%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	70	28	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-49	-1	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	39	56	
その他及び非経常的(損)益	2	39	
当期純利益	730	703	3.9%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.56	1.29	20.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.17	0.07	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.12	-	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.09	0.12	
その他及び非経常的(損)益	0.01	0.09	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.71	1.57	8.9%

12月31日に終了した12ヶ月間:

	<u>2015年</u>	<u>2014年</u>	<u>増減率</u>
事業利益	2,670	2,797	-4.5%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	97	119	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-88	-24	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	27	16	
その他及び非経常的(損)益	-173	43	
当期純利益	2,533	2,951	-14.2%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	6.16	6.16	-
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.23	0.26	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.20	-0.05	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.06	0.03	
その他及び非経常的(損)益	-0.40	0.10	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.85	6.50	-10.0%

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率―無監査)

2015年12月31日に終了した3ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-2.1%	2.4%
投資収益(ネット)	-2.0%	0.4%
保険金給付金および事業費合計	-5.7%	-1.5%
事業利益	15.1%	19.1%
希薄化後1株当たり事業利益	20.9%	24.8%

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円／ドル為替レートをを用いて算出した。

2015年12月31日に終了した12ヶ月間:

	<u>為替変動の 影響を含む</u>	<u>為替変動の 影響を除く²</u>
保険料収入	-7.9%	1.6%
投資収益(ネット)	-5.6%	-0.1%
保険金給付金および事業費合計	-8.2%	1.1%
事業利益	-4.5%	2.5%
希薄化後1株当たり事業利益	-	7.5

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円／ドル為替レートをを用いて算出した。

2016年度1株当たり事業利益予想

<u>円／ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2015年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
110	\$6.49 - \$6.73	5.4% - 9.3%	\$ 0.32
115	\$6.34 - \$6.58	2.9% - 6.8%	\$ 0.17
120.99*	\$6.17 - \$6.41	0.2% - 4.1%	\$ -
125	\$6.07 - \$6.31	-1.5% - 2.4%	\$ -0.10
130	\$5.95 - \$6.19	-3.4% - 0.5%	\$ -0.22

*実際の2015年度の年間加重平均為替レート